

理学研究科 化学専攻授業科目表（修士課程）

【専門科目・修了所要単位数:28単位】

授 業 科 目 名	標準履修学年 および単位		教免区分
	1年	2年	
専 門 分 野			
必修科目(16単位)			
化学特別研究1A	2		
化学特別研究1B	2		
化学特別研究2A		2	
化学特別研究2B		2	
化学特別論議1	2		理必
化学特別論議2		2	理必
化学特別演習・実験1	2		理必
化学特別演習・実験2		2	理必
選択必修科目(10単位以上)			
無機及び分析化学			
有機化学			
物理化学			
分子科学基礎	1		理選
分子科学特論A		2	理選
分子科学特論B		2	理選
分子科学特論C		2	理選
分子科学特論D		2	理選
分子集積化学基礎	1		理選
分子集積化学特論A		2	理選
分子集積化学特論B		2	理選
分子集積化学特論C		2	理選
分子集積化学特論D		2	理選
分子集積化学特論E		2	理選
分子集積化学特論F		2	理選
合成有機化学特論A		2	理選
合成有機化学特論B		2	理選
合成有機化学特論C		2	理選
反応有機化学特論A		2	理選
反応有機化学特論B		2	理選
反応有機化学特論C		2	理選
反応有機化学特論D		2	理選
構造有機化学特論		1	理選
生体情報化学特論	1		理選
機能性材料化学特論		2	理選
機能性高分子化学特論		2	理選
高分子物性特論		1	理選
光機能化学特論		2	理選
有機材料化学特論		2	理選
固体化学特論		2	理選
固体物性化学特論		2	理選
生命材料界面化学特論		2	理選
生体材料解析法特論		2	理選
生体分子化学特論		2	理選
材料・デバイス科学特論		2	理選
環境化学特論		2	理選
エネルギー変換化学特論		2	理選
機能性無機材料化学特論		1	理選
電気化学特論		2	理選
環境分析化学特論		2	
選択科目			
共通			
化学特別講義A		1	
化学特別講義B		1	
化学特別講義C		1	
化学特別講義D		1	

【一般教養科目・修了所要単位:2単位】

授 業 科 目 名	標準履修学年 および単位		教免区分
	1年	2年	
選択必修科目(2単位)			
教養(共通)			
自然を学ぶ科目群			
物理学から見る理学の世界1	1		
物理学から見る理学の世界2	1		
物理学から見る理学の最前線1	1		
物理学から見る理学の最前線2	1		
物理学から見る理学の未来1	1		
物理学から見る理学の未来2	1		
人間と社会を学ぶ科目群			
社会科学系			
Japan's diplomacy in the context of globalization	2		
キャリア形成を学ぶ科目群			
知的財産系			
知財情報科学	1		
知的財産特論	2		
表現・コミュニケーション系			
サイエンス・ライティング	2		
Presentation Skills	2		
キャリアデザイン系			
実践的リーダーシップを学ぶ	2		
理科探究学習論	2		理選
教授メディア学習論	1		理選
学校インターンシップ(アドバンス)	1		理選
外国語を学ぶ科目群			
英語系			
Academic English 1	2		
Academic English 2	2		
領域を超えて学ぶ科目群			
科学技術社会論系			
科学者・技術者の倫理	1		
科学文化概論	2		
情報学・環境学系			
環境安全科学	1		
ゼミ・特別講義系			
ウォーターサイエンス特論	2		

【履修方法】

- 以下①～③を全て満たし、合計30単位以上修得すること。
①専門必修科目16単位を修得すること。
②専門選択必修科目を10単位以上修得すること。
③一般教養科目2単位を修得すること。
ただし、2単位を超えて修得した単位は修了所要単位に含めない。

- 研究科の定めるところにより、以下に掲げる授業科目を履修することができる。

- ①所属専攻以外の専攻課程による授業科目
- ②他の研究科の授業科目
- ③他大学の大学院の授業科目
- ④学部の授業科目

①～③の授業科目において修得した科目の単位のうち、修了所要単位として含めることができる単位数は2単位までとする。なお、このうち教養(共通)科目については、修了所要単位として含めることができる単位は2単位までとする。

- 「理科探究学習論」、「教授メディア学習論」、「学校インターンシップ(アドバンス)」については教職課程登録者に限り履修することができる。

【教免区分】

<大学が独自に設定する科目(理科)>

教職職員免許状取得のための単位認定区分を示す。

理必 ⇒ 理科の必修科目

理選 ⇒ 理科の選択科目

注 教職職員免許状取得希望者は、大学院要覧『教職課程について』(P.68)を必ず参照すること。